



氷見市での家計改善支援とコロナ禍での 取り組みの様子

社会福祉法人 氷見市社会福祉協議会
ふくし相談サポートセンター
セーフティネットチーム チーフ
主任相談支援員 和泉 梢

●地域概況

氷見市は富山県の北西部、能登半島の付け根部分に位置し、東側は富山湾に面し、海越しに雄大な立山連峰が一望できるという豊かな景観が自慢のまち。

「ひみ寒ぶり」をはじめとし、ハトムギ・氷見うどん・はさがけ米・白ねぎ・稲積梅・氷見牛など海の幸、里山の幸を活用したまちづくりを展開している。

- 人口：44,614人 ・世帯数：17,422世帯
- 高齢者人口：17,507人 (39.2%)
- 年少人口 3,920人 (8.8%)
- 生活保護世帯数：156世帯・被保護人員183人 (4.01%)
- 自治会：230地区 ・地区社協：21地区
- 地区民協：21地区 (民生児童委員124名・主任児童委員24名)
- 小学校：9校・中学校：4校 義務教育学校：1校
- 保育所：6園 (公立3園、私立3園) ・認定こども園7園



ひみの寒ぶり



富山湾に浮かぶ唐島越し見える立山連峰

*令和4年4月1日現在

氷見市社会福祉協議会

事務局体制について

氷見市社協事務局体制

事務局長
事務局次長

**ふくし相談
センター**
(市庁舎)

生活困窮者自立相談支援事業
家計改善支援事業
アウトリーチ等の充実による自立相談支援の機能強化事業
多機関協働事業
基幹相談支援事業
アウトリーチ等を通じた継続的支援事業
福祉サービス利用支援
(日常生活自立支援事業、生活福祉資金貸付事業)

**こども
支援課**
(社会福社会館、いきいき元館)

児童館・学童保育
ファミリー・サポート・センター
地域型保育所きらら
学習・生活支援事業
こども食堂ネットワーク(事務局)
こどもホームテリ

**障害者
支援課**
(我家)

相談支援事業所
障害者生活介護事業所
障害者・児デイサービス
通所介護事業
障害者福祉センター我家管理・運営

**高齢者
支援課**
(社会福社会館、寿養荘)

老人休養ホーム寿養荘管理・運営
(ひみサンテ)
高齢者グループリビング
訪問介護事業
居宅介護支援事業
福祉用具貸与事業
訪問介護事業
通所介護事業

**地域福祉・
ボランティア推進課**
(いきいき元気館)

いきいき元気館管理・運営
ボランティア総合センター
地域福祉活動支援
安心生活創造事業
福祉防災マップ作成事業
地域個別支援活動支援(ケアネット活動)

**総務・
企画課**
(社会福社会館)

総務・法人運営
(広報、計画進行管理、視察対応)
地域福祉研修センター
氷見市共同募金委員会
社会福社会館管理・運営

社協基盤業務

市社協職員のエリア担当制



ふくし相談サポートセンター



ふくし相談サポートセンターとは

- →センターは、福祉介護課、子育て支援課、市社協が官民協働で行う「福祉の総合相談支援窓口」として、平成26年5月7日の新庁舎オープンと共に新設
- →各課の相談窓口で対応しつつ、「困りごとが明確になっていない」「公的制度を利用できない」「同一世帯内に複数の生活課題を抱えている」相談は、市社協が対応

◆ふくし相談サポートセンター人員配置（10名）

①多機関協働事業（2名）R3～

◆事務局次長、主幹

②生活困窮者自立支援事業（4名）H25～

◆相談支援員（正規）2名（社会福祉士、主任介護支援専門員）

◆アウトリーチ支援員（正規）兼務（社会福祉士） ◆就労支援員（常勤）1名

③家計改善支援事業（1名）H27～

◆家計支援員（常勤）

④基幹相談支援事業（3名）H26～

◆相談支援専門員：2名（正規）、相談員1名（準職員）（精神保健福祉士、社会福祉士）

⑤アウトリーチ等を通じた継続的支援事業（1名）R3～

◆アウトリーチ支援員（正規）1名

生活困窮者自立支援事業 職員配置

自立相談支援事業

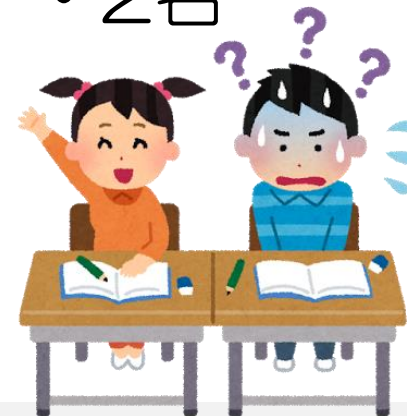
- *主任相談支援員 . . . 1名
- *相談支援員 . . . 1名
- *就労支援員 . . . 1名
- *アクトリー支援員 . . . 兼務

家計改善支援事業

- *家計改善支援員 . . . 1名

子どもの学習支援事業（学習・生活支援事業）

- *学習・生活支援コーディネーター . . . 2名
- *学習支援員 . . . 4名
- *サポーター . . . 1名
- *学生ボランティア . . . 0名



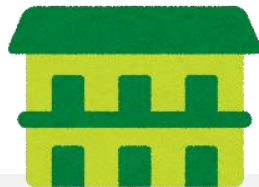
氷見市の実施状況

平成25年度の途中から モデル事業で実施

氷見市で行っている事業 **任意**

必須

自立相談支援事業
住居確保給付金の支給



家計改善支援事業
子どもの学習支援事業
（学習・生活支援事業）
就労準備支援事業

これまでの実績 新規件数（相談経路）及び延支援回数（重複有）

		29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
新規相談件数		171	151	116	283	168
相談経路	当事者	20	27	9	128	71
	家族	19	21	12	22	16
	知人	2	3	0	1	5
	地域	47	28	24	34	12
	専門職	34	28	26	50	29
	行政	49	44	45	48	35
延支援回数		4,526	5,739	5,262	6,298	5,321
主訴終結 ケース数		61 (17%)	38 (8%)	164 (31%)	38 (6%)	37 (5%)

支援の実態

内容		30	元	2	3	内容		30	元	2	3	
ケアプランの作成		48	16	16	15	就労訓練事業 (中間的就労)		0	1	0	0	
支援調整会議の開催		7	4	3	4	生活福祉資金貸付		相談	18	11	187	101
住居確保給付金		相談	2	0	28			6	決定	2	0	156
		決定	0	0	14	2	生活保護相談		相談	19	22	17
家計相談支援 (家計改善支援)		相談	37	30	171	100			決定	9	6	8
		支援	55	46	29	30	被保護者就労支援		支援	37	1	0
就労支援		支援	90	40	47	26			就労者	1	0	0
		就労者数	14	8	22	9	緊急食糧等支援		368	114	113	57
		収入増人員	14	8	19	10	生活・学習支援		21	25	25	25

事例紹介



事例紹介1：ホームレスの様な風貌の一人暮らしの男性



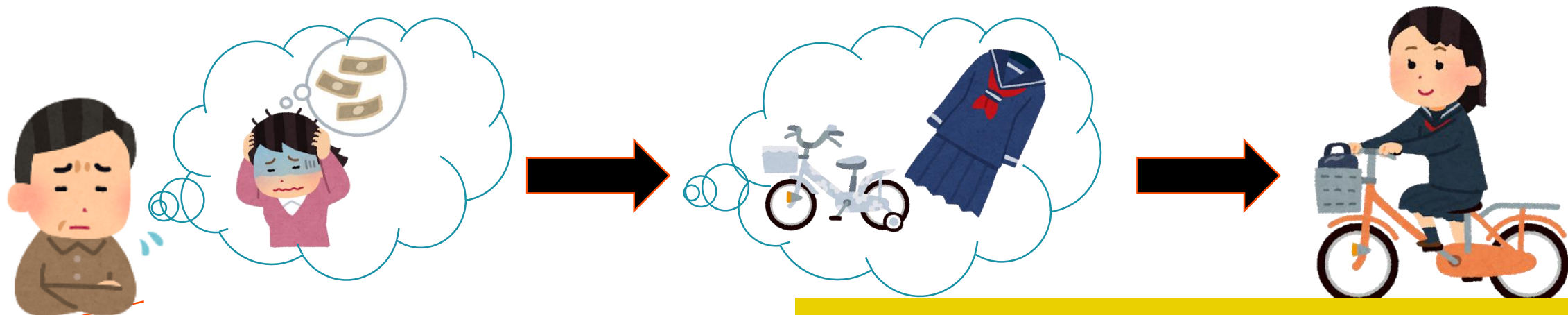
40代男性、1人暮らし、無職

高校卒業後仕事をしていたが続かず
継母の年金で生活
継母が認知症となり施設入所
移動手段は自転車のみ
生活保護は拒否
電気代が支払えず電気がストップ
入浴ができていない
入浴をして仕事をみつきたい

支援とその結果

入浴機会の提供
簡単な食糧の提供
中間的就労の紹介
本人のキーパーツをみつける
家計支援
受診同行
B型就労へつなげる
成年後見制度の補佐人がついた

事例紹介2：外国籍の母と娘の世帯

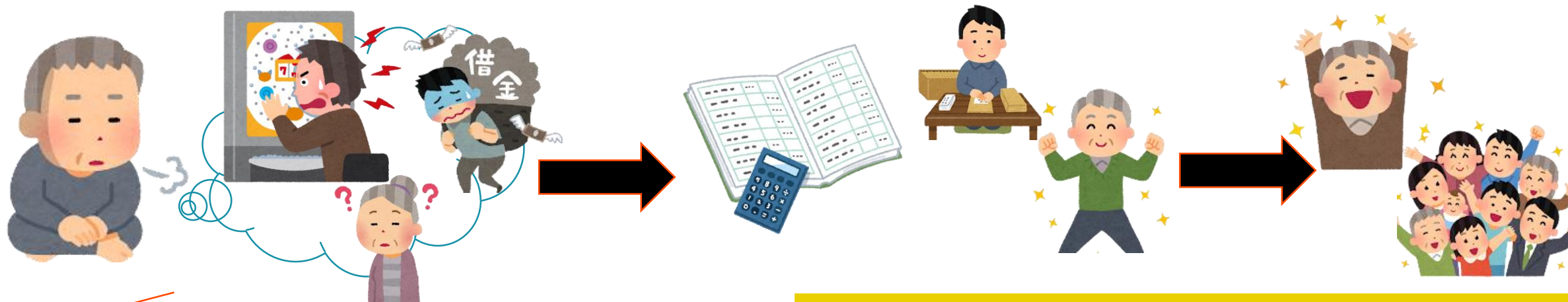


外国籍の母と中学に進学する娘
二人で生活
派遣会社に登録し介護施設で勤務
夫からの援助はない
身寄りがない
日本語の読み書きが苦手
移動手段は自転車

支援とその結果

- * 進学準備の支援
(遊休品バンクの活用や買い物同行)
- * DDスマイル塾の利用
- * 受診や手続きの同行
- * 学校や勤務先との情報共有
- * 民生委員さんとの情報共有

事例紹介3：認知症、障害、一人親等、世帯全体に課題のある世帯



男性 67歳
母（87歳・認知症）次女（30代一人親）、
孫（6歳）、長男（25歳・知的障害の5人
世帯
本人は無職、収入は年金11万円のみ
パチンコや酒により借金や滞納がある
脳梗塞の後遺症で軽度の右麻痺状態
高血圧、糖尿病がありインリン注射をしている
母・息子の年金を使い込み必要な支援が受
けられない
親族関係が希薄

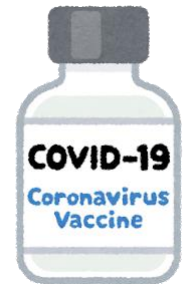
支援とその結果

- * 家計改善支援事業の利用
- * 就労準備支援事業の利用
- * 母、長男の関係機関との連携
- * 生活リズムが整う
- * 生活全般の困りごとにも相談できるようになる
- * シバ-人材センター-の就労を経て一般就労開始⇒収入増
- * 家計の見直し⇒借金・滞納を完済

コロナ禍での様子

平常時とあまりかわらなかったが・・・

- カンファレンス室のドアを開けて面談を行った
- パネルを置いて双方安心できる環境をこころがけた
- コロナワクチン接種の予約や接種の同行を行った
- 給付金の手続きをサポートした
- 貸付が目的で来館されたが、会話の中から、さまざまな困りごとを聞くようにして貸付以外の支援の提案も行った
貸付を通して社会福祉協議会を知ってもらう機会となった。



私達が大切にしていること

大切にしていること

- 本人のことをちゃんと知ること

⇒例えば・・・

生活実態を見に訪問する

本人の本当の困りごとを理解する

- 本人が主体的に行動できるように支える

⇒例えば・・・

支援者側ではなく本人が決める

同行して場面や出来事の共有をする

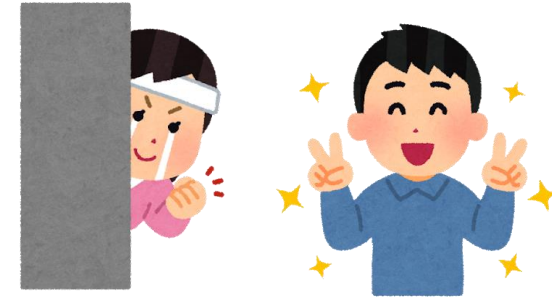
- 様々な役割の人と連携する

⇒一人暮らしでも抱えている課題は複数で分野も様々、世帯の人数が多いほどそれぞれに課題があるケースがほとんどだから、様々な機関や地域と連携していくことが大事



課題と今後について

課題と今後について



課題

- ・家計改善支援事業の利用について対象者へ伝わらず利用へとつながらない
見栄っ張り、お金を貸してほしい、困り感がない
- ・本人が支援を拒否した場合の関り

今後について

- ・一人一人に合わせた伝え方、見せ方をする
- ・失敗を重ねても、あきらめずに見守る
- ・本人の理解者や関わる方をいろいろな所に増やす
- ・持っている力を発揮できるような支援をする



ご清聴ありがとうございました